

平成 16 年 8 月 24 日

東洋エンジニアリング株式会社

TEC、韓国向けにプロピレン増産プラントを受注 ～ 3 基目の OCT 受注、海外向けは初～

東洋エンジニアリング株式会社 (TEC、取締役社長 山田 豊) は、グループ会社の韓国現地法人トーヨー・コリア社 (Toyo Engineering Korea Limited. 略称: Toyo Korea) と共同で、三井物産株式会社の協力を得て、韓国の大韓油化工業株式会社 (Korea Petrochemical Industry Co., Ltd. 略称: KPIC) より、ABB ルーマス社のプロピレン増産技術である OCT (プロセス) を適用した、年産 11 万トンプロピレン製造設備をこのほど受注致しました。

本プロジェクトは、現在 KPIC 社がポリプロピレンの原料として社外から調達しているプロピレンを、自社にて生産するための計画であり、TEC と Toyo Korea の所掌範囲は、ABB ルーマス社の基本設計に基づく詳細設計、機器資材調達、工事で、プラントは 2005 年末の運転開始を予定しております。

TEC は、市場でのプロピレン需要の高まりに対応し、ABB ルーマス社との長年の技術提携に基づき、設備投資の経済性に優れ、世界で唯一商業プラント実績のある「OCT プロセス」の営業展開を国内外にて積極的に進めて参りました。今回の受注は TEC にとって初の海外向け OCT の受注であり、国内も含めて 3 件目の OCT 実績となります。韓国を含めたアジア地域では、今後もプロピレン増産設備の需要が見込まれており、TEC は今後も引き続き、OCT の積極的な営業展開を進めてまいります。

< 受注概要 >

客先： 大韓油化工業株式会社 (Korea Petrochemical Industry Co., Ltd. 略称: KPIC)
(本社 ソウル、社長 李 舜揆 < Lee Soon-Kyu >)

建設地： 韓国・温山

対象設備： 年産 11 万トン・プロピレン製造設備

ライセンサー： ABB ルーマス社 (ABB Lummus Global Inc. 本社 米国ニュージャージー州)

役務範囲： 詳細設計、機器資材調達、工事

プラントの完工予定：2005 年末

受注の意義

- * OCT プロセスでの韓国初の実績である。
- * TEC が積極的に推進する海外拠点との協業体制 (トランスナショナル体制) での営業活動が実現し、今回の受注につながった。

以上